

ホームページに
動画二ユース
www.fukushinbun.co.jp

「越前織」1年生の胸に 坂井 全国へ、名札製造ピーク



入園・入学シーズンを前に、ピークを迎えている越前織の名札作り
= 3日、坂井市丸岡町今町の児玉織ネーム(杉本哲大撮影)

入園・入学シーズンを前に、坂井市内では地場産業の細巾織物「越前織」で校章などを織り込んだ名札の製造がピークを迎えている。全国の小中学生や園児らの胸などを飾る名札が次々と完成している。昭和30年代から続く同市丸岡町今町の児玉織ネームで

は、全国700〜800校の小中学生や幼稚園児用の名札を製造している。現在は入園、入学のほか、学年が上がって名札が変わるため、1年で最も忙しい時期となる。工場では年季を感じさせる木製の織機など11台がほぼフル回転。名札を織るリズムカルな音が

絶え間なく響いている。昨年祖父から工場を引き継いだ酒井良行さん(49)は「実際に着けているところを見ることはできないが、全国の子どもに使われていると思うと誇らしい」と話していた。